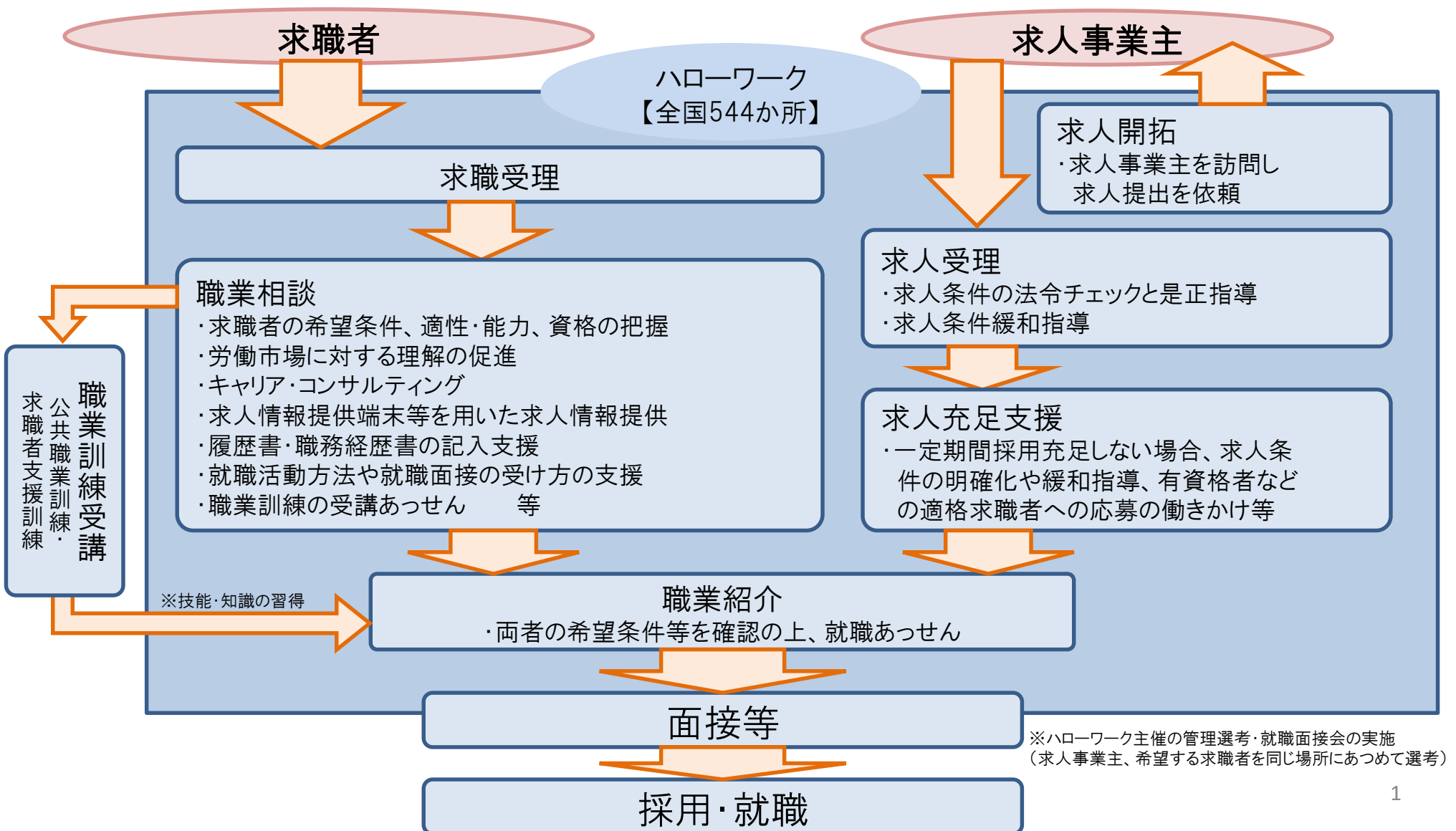


中高年女性の就業ニーズ (ハローワーク・生涯現役支援窓口)

平成31年 4 月
厚生労働省職業安定局

ハローワークにおける職業相談・職業紹介の概要

- ハローワークにおいて、求職者の適性・能力や資格、希望、求人事業主の人材ニーズを踏まえ、きめ細かな職業相談や全国ネットワークを活用した職業紹介を実施し、就職・求人充足を実現。

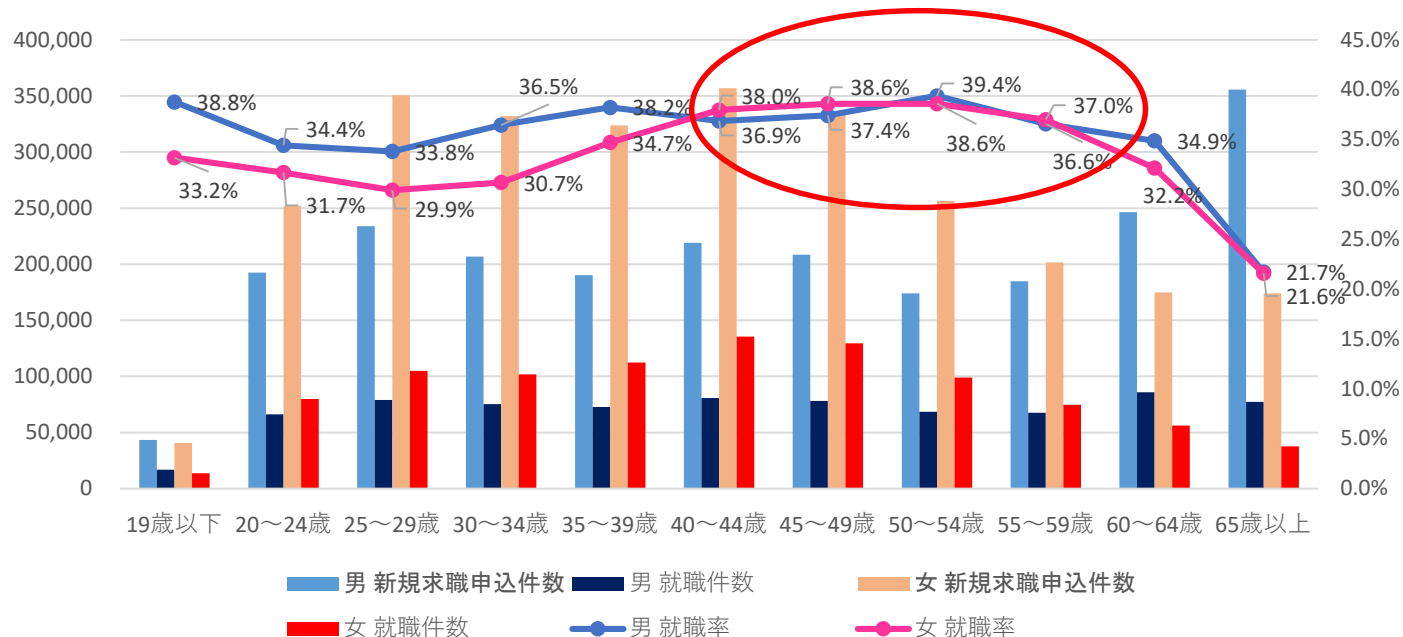


ハローワークの職業紹介状況(性別・年齢階層別)

ハローワークで求職活動をしている者の状況を、性別・年齢階層別にみたところ、以下の特徴があった。

- ・「19歳以下」「60～64歳」「65歳以上」を除いた他の全ての年齢階層では、新規求職申込件数は男性よりも女性の方が多い。
- ・40歳～59歳を見ると、就職率は女性と男性はほぼ同等か、女性の方が高い。

性	男			女		
年齢	新規求職申込件数	就職件数	就職率	新規求職申込件数	就職件数	就職率
19歳以下	43,204	16,754	38.8%	40,653	13,496	33.2%
20～24歳	192,502	66,268	34.4%	251,949	79,847	31.7%
25～29歳	233,784	79,049	33.8%	350,729	104,988	29.9%
30～34歳	206,752	75,398	36.5%	331,970	101,912	30.7%
35～39歳	190,141	72,709	38.2%	323,838	112,419	34.7%
40～44歳	219,060	80,779	36.9%	356,800	135,491	38.0%
45～49歳	208,649	78,087	37.4%	335,084	129,351	38.6%
50～54歳	173,981	68,540	39.4%	256,343	98,955	38.6%
55～59歳	184,771	67,577	36.6%	201,636	74,595	37.0%
60～64歳	246,368	85,912	34.9%	174,749	56,192	32.2%
65歳以上	355,701	77,235	21.7%	174,006	37,551	21.6%



生涯現役支援窓口事業の概要

- 主なハローワークに高齢求職者の支援に取り組む「生涯現役支援窓口」を設置し、職業生活の再設計に係る支援やチーム支援を総合的に実施しつつ、特に65歳以上の者の再就職支援を重点的に取り組む。
- 「働き方改革実行計画」及び「ニッポン一億総活躍プラン」において、2020年度までを高齢者の就業促進の集中取組期間と位置づけられたことから、全国のハローワーク300箇所程度に「生涯現役支援窓口」の設置を目指し、平成31年度は、60箇所を増設（180→240箇所）するとともに、求人者支援員等を増員し、65歳以上が就業可能な短時間の求人開拓の強化を図り、マッチングによるキャリアチェンジを促進する。

ハローワーク

生涯現役支援窓口

<支援対象者>

- 概ね60歳以上の高齢求職者

<主な支援内容>

- 高齢期の生活を踏まえた職業生活の再設計や年金受給者である求職者の職業生活に係る相談・援助
- 本人の状況に応じたチームによる手厚い支援
- 高齢求職者向け求人情報の開拓・提供（65歳以上が就業可能な短時間の求人開拓を強化）
- シルバー人材センターとの連携した軽易な就業等に関する情報の提供

【就労・生活支援アドバイザー58人(52人)】

<主な支援業務>

- 個々のニーズ等を踏まえた「生涯設計就労プラン」策定
- キャリア・コンサルティング、生活設計に係るガイダンス、就労後のフォローアップの実施 等

<支援体制>

【求人者支援員 198人(180人)】

<主な支援業務>

- ◆ 65歳以降でも活躍できる求人の開拓
- ◆ シルバー人材センターでの軽易な就業等に関する情報収集 等

【職業相談員 240人(180人)】

<主な支援業務>

- 「生涯設計就労プラン」に基づく職業相談・職業紹介等の実施 等

●生涯現役支援窓口の実績（平成29年度：窓口数110箇所）

	チーム支援 対象者数	就職人数	就職率
55～64歳	16,011人	11,118人	69.4%
65歳以上	21,645人	13,074人	60.4%